

福生三中だより

令和7年7月18日発行 No.4

福生市立福生第三中学校

学校教育目標

- 1 よく聞き、よく見、自分の考えをもつ生徒
- 2 ものごとをやり抜く強い意志をもつ生徒
- 3 責任を果たし、みんなのために働く生徒
- 4 美しいものを求め、豊かな心をもつ生徒

校訓 礼 節

キャリア教育

校長 増木 一仁

本日で1学期が終了しました。4月の令和7年度のスタートから、保護者・地域の皆さんには、本校の教育活動に対してのご理解・ご協力を賜りまして充実した学期にできたことに感謝申し上げます。明日からの39日間の夏休みも一人一人の生徒にとって有意義なものにさせたいと思います。

さて、先月号でも書かせていただきましたが、本校で今年度、改めて大切にしたいと考えているのが「キャリア教育」です。キャリア教育は、子どもたちが自分の生き方や働き方を主体的に考え、社会の中で自分らしく生きる力を育てる教育です。子どもたちが自分の興味や関心に気づき、社会とのつながりを意識しながら、自分の人生を主体的に考えていく力を養うことを目的としています。

キャリア教育

自分を知る：自分の好きなこと、得意なこと、苦手なことを考える。

社会を知る：いろいろな仕事や働く人の話を聞いて、社会のしくみを学ぶ。

未来を考える：将来やってみたいことや、どんな人になりたいかを考える。

人と関わる力を育てる：話し合いや協力を通して、コミュニケーション力を高める。

日々の授業や行事、生徒会活動、部活動等の教育活動全般がキャリア教育につながると思っています。例えば、体育祭や合唱コンクールを通して協力してやり遂げることの大切さを実感することや、修学旅行（3年）、東京課題研究（2年）、移動教室（1年）で見聞を広め、より社会を知ることが、子どもたちが将来、主体的に自分らしく生きていく力につながります。

キャリア教育は、すぐに成果が見えるものではありません。しかし、「自分の未来を自分で描く力」を身につけるためには、今からの積み重ねが何よりも重要です。ご家庭でも、ぜひお子さんと「将来どんなことをしてみたいか」「どんな人になりたいか」など、未来について語り合う時間を持っていいただければと思います。

これからも学校・家庭・地域が連携しながら、子どもたちの可能性を広げる教育を進めてまいります。

夏休み、家庭や地域で過ごす時間が長くなります。「将来・未来」という言葉をキーワードに一人一人の生徒が成長できる夏休みにできればと思っております。安全・安心のご指導と共に、どうぞよろしくお願いいたします。